

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立富洲原中学校

校長 天野 智裕

### 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
  - ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
  - ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々と活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- ※ これまでの「学びの一体化」の成果を活かしつつ、小中一体となって保幼もまきこみながら、地域とともに子どもを育むことを目指します。

### 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

#### (1) 教育活動の実践事例

##### ①地域に学び、地域を愛し、地域に貢献する生徒の育成

###### クリーン大作戦（地域清掃）

クリーン大作戦は「校区をきれいにすることで、地域を大切にする心やボランティア精神を養う。」「生徒が主体的に取り組むことにより、自己責任感を育てる。」「生徒・教師がともに校区に出て行くことで、地域を知り、つながりを深める。」ことを目的に毎年、**全校生徒が参加**し実施しています。本年度は、幼稚園、保育園、北部児童館・地区市民センターの清掃を行いました。この取組を地域の方は毎年楽しみにしていただいております。また、生徒たち自身もこれまでお世話になっている施設への恩返しができることをうれしく思っています。



###### 避難訓練

例年は、地区総合防災訓練（地域住民が一体となって行う総合防災訓練）に参加したうえで、校内で炊き出し訓練を実施していますが、本年度は、感染防止のため中止となりました。そこで生徒には、各地区の避難訓練に参加するよう促しました。

学校では、学期に一回以上の避難訓練を実施し、避難経路等の見直しを行っています。また2年生は防災教室を開催し、災害時等の応急処置放なども学びました。地区防災訓練の理念で

ある「自助」「共助」「公助」の一助を担う人材となるように、この訓練を継続していきます。



## ②地域人材、外部講師、保護者を活用した教育活動等

起業家教育・職業講話・図書ボランティア・本と音楽の会・起業家教育

### ☆起業家教育

地元の銀行の方を講師として招き、お金の流れについて教えていただいたあと、各グループで起業家として事業計画書を作成し、審査をしていただきました。実現の可能性が高いと考えられる案もたくさんあり、生徒にとって学びの多い学習となりました。



### ☆職業講話（キャリア教育）

地元で活躍する先輩方に職業講話をしていただきました。その仕事に就いた理由や、働く中でのやりがいや苦労することなどのお話を聞くことで、働くことについてイメージを膨らませることができました。その講話を受けて、10月には職場体験も実施しました。引き受けていただいた地元企業のおかげで、沢山の経験を積むことができました。



### ☆図書館ボランティア・読書活動

毎年保護者にボランティアを募り「読書活動推進教育」に協力をしていただいています。1学期に3年生が一人一冊マイブックを選びます。その本の整備を、図書館司書と一緒にしていただきました。日ごろからブックバイキングやミニ図書館コーナーなども設置し、読書活動の推進をしていきたいと思っています。



### ☆本と音楽の会

1・2年生の国語科で、野呂様ご夫妻をお招きし「本と音楽の会」を開催しました。

野呂様ご夫妻には、毎年いろいろなジャンルの絵本を読んでいただいています。今年も感染症対策として1クラスずつ体育館で実施しました。大きな画面に映しされる絵本に合わせた朗読と音楽で、非常に素敵な時間を過ごすことができました。



### (2)「三錨CS運営協議会」の取り組みによる効果

今年度も「四日市版コミュニティスクール」の委託を受け、地域・家庭・学校が一体となった学校づくりを目指し推進してきました。授業参観や各行事を通して、授業の様子や掲示物などから生徒の取組を見ていただくことができました。地域行事も一部開催され秋に実施された「とみすはら大運動会」では、沢山の生徒がボランティアとして参加しました。また、保育実習や職場体験・クリーン大作戦・SDGs研究など、様々な場面で地域施設などに出向く機会が多くあり、地域とともにある学校という認識をより一層深めることができました。

富洲原地区は、小中合同でCSを行っており、三錨CS運営協議会において、小中学校だけでなく、保育園・幼稚園・児童館などの様子などについても交流しています。会議でいただいた意見を共有することで、地域の子どもたちを地域で育てていくという視点を大切に、本年度の活動を振り返り、次年度にいかしたいと思っています。



### 3 今後に向けて

三錨CS運営協議会において、次のようなご意見をいただきました。

#### ◆「学び合う授業づくり」

コロナ禍でペア学習やグループワークの制限がある中、タブレット端末を活用した意見交換など、うまく活用して取り組んでもらっていると思う。タブレットの有用性・活用はまだまだ過渡期であり、教職員の力量を向上させていくためにも、タブレット活用を補助してくれる人員があるとよいと思う。

また、コロナ対策に弾力性ができたら、本来の「とみすっこ」の学びの姿を戻していつてもらいたい。

#### ◆「読書活動」

年齢があがるにつれ読書離れになる傾向がある。本がすぐに手に取れる場所にあるような工夫をするなど、本に親しむ環境づくりを継続して行ってほしい。

#### ◆「仲間づくり・楽しい学校生活」

全体的に学校生活は落ち着いて取り組めており、また挨拶ができる子が多いと感じた。

「やわらかな学校づくり」と学校づくりビジョンにあるように、花や緑の管理や、子どもたちの作品の掲示など、先生と生徒が一体化した取組が行われている。今後も継続していつてもらえるとよいと思う。落ち着いた環境や雰囲気づくりによって、子どもたちが大切にされているという実感につながっていると思う。

とみすはらの子は、優しい子たちが多く、授業の中でもお互いがお互いを理解し、配慮している場面がみられた。

#### ◆「学校行事・地域連携」

コロナ禍の中ではあったが、地域やCS委員の代表が学校の様子を拝見することができた。また、例年実施されるクリーン大作戦では小学校、幼稚園、保育園、地区市民センター、児童館に出向き清掃活動をおこなったり、保育実習や職場体験を実施することで、地域の中で中学生が活動する姿を見られるのはよいと思う。

可能な限り地域においても行事を実施していくようにしていきたい。地域と学校が一体となって、子どもたちの成長を見守りたい。また、地域行事をどのように引き継いでいくかも考えていきたい。

終わりに…

今後も、四日市版コミュニティスクール推進に向けての取り組みを検討し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進していきます。

コミュニティスクール推進のために、保護者の方々だけでなく地域の方々にも、様々な情報を適切に発信していく必要があります。学校ホームページでの情報発信をはじめ、地域に情報発信をしていきます。

これからも、地域の人・場所を活用させていただきながら、目指す生徒像に向かって、地域とともに取り組んでいきたいと考えています。